

S S 2 1 D - P

取 扱 説 明 書

目 次

- (1). 本機を安全にご使用いただくために
- (2). 電源投入 および しゃ断について
- (3). SS21D-P初期値設定
- (4). 操縦装置機能説明
- (5). 保証期間と補足事項

はじめに

本機は、フライトシミュレーターや飛行機操縦についての基礎知識を持った人を対象にしています。知識をもたない人や十分な訓練を受けていない人の操作、保守によって発生した事故に関して、弊社は責任を負いません。

この機械には、各部分にさまざまな安全対策を実施していますが、お客様の取り扱いミスが大きな事故につながる場合もあります。そのようなことがないためにも、必ず弊社、制御メーカーおよび各附属機器メーカーの取扱説明書を熟読し、内容を充分にご理解いただいたうえで、操作を行って下さい。

本機を使用するうえで“できないこと”や“してはいけないこと”は極めて多くあり、取扱説明書にすべてを書きつくすことはできません。説明書に“できる”と書いていない限り“できない”と考えて下さい。

安全に関する基本的な注意事項を次のページ以降に説明いたします。

操作に関する注意事項については操作説明書、保守に関する注意事項についてはこの“本機を安全にご使用いただくために”を読んで下さい。

なお、注意事項に記載している内容は、機械の操作、保守において、特に注意すべき事項です。これらの注意事項を守らない場合は、作業員や周囲の人を巻き込んだ人身事故や機械の破損につながります。必ずその指示に従って、取り扱って下さい。

また、この注意事項に記載している“作業員”とは、機械操作を行う者（オペレータ）だけでなく、機械またはこれに付随する安全防護装置または安全防護の保全及び点検を行う者（プログラム作成者）を含んでおり、機械に関わる作業に従事している全ての人を示しています。

したがって、これらの作業に従事している人は、この注意事項及び関連する取扱説明書を注意深く読み内容を充分ご理解いただいたうえで、機械を使用して下さい。

1．機械を使用する前に

以下に記載している内容は、機械を使用するとき常に心得て頂きたい注意事項です。

ここでは機械を使用するにあたり、すべての作業（機械操作、保守、点検、プログラミング）にかかわる重要な注意事項を記載しています。

1. 決して濡れた手で各スイッチやボタン、キーに触れないでください。
アース効果が不良な場合や漏電している場合、濡れた手で各スイッチやボタン、キーに触れると、感電する恐れがあります。
2. 機械を運転するときは保護カバー内や回転部、可動部付近に人や傷害物がないことを確認してください。また、作業員も機械稼働中に回転部や可動部に触れたり近づいたりしないでください。回転部に巻き込まれたり、可動部にはさまれたりして、人身事故につながります。

3. 保護カバーやインタロック、その他の安全装置を取り外した状態で、機械を使用しないでください。保護カバーや安全装置などが破損した場合は、弊社、制御メーカーおよび各附属機器メーカーに必ず連絡してください。これらを取り外した状態で機械を使用すると、機械が予想せぬ状況で動作し、人身事故につながります。
4. 段取り作業を行うときや機内を清掃するときなど、機内で作業を行う場合および、機械の点検や修理をする場合は、必ず電源をしゃ断してください。
また、機内での作業中および保守・点検作業中に他の人が誤って電源を投入し、機械を動かしたりするのを防止するため、周囲に“機内作業中”あるいは“保守作業中”であることを明示してください。電源を投入した状態で機内での作業および保守・点検作業を行うと、何らかの原因で機械が動作し、機械の回転部に巻き込まれたり、可動部にはさまれ、人身事故につながります。
5. 床をはう電源ケーブルには損傷防止のため、強度があり絶縁性のあるカバーをしてください。電源ケーブルの被覆部が損傷していると、感電する恐れがあります。
6. 電源をしゃ断しても、機器により内部に電荷を帯びたものやモータ、機内照明灯など温度が上昇しているものがあります。このような機器の保守・点検作業などを行う場合は、電荷放電後および温度低下後に作業を行ってください。電荷を帯びた状態や温度が上昇した状態で、不用意にこれらの機器に触れると、感電したりやけどをする恐れがあります。
7. 機械を使用する前には、必ず電源ケーブルや電線の披覆部を確認してください。電源ケーブルや電線の披覆部が破損していると、感電する恐れがあります。
8. 機械周辺の床には、物を置いたり、水や油で濡れていないように、整理、清掃してください。機械周辺の床に物が置いてあったり、水や油で濡れていると、作業員や周囲の人が転倒し、人身事故につながります。
9. 作業を行うときは、周囲の状況を十分に把握し、安全に作業ができる足場を確保してください。作業ができる足場を確保しないと、作業中にバランスを崩し、思わぬところに手が触れたり、身体が転倒したりした、人身事故につながります。
10. 各スイッチやボタン、キーは、その位置と機能をよく確かめてから、確実に操作してください。間違ったスイッチやボタン、キーに触れると、機械が予期せぬ動作をし、人身事故につながります。
11. パラメータの値は、機械出荷時、各仕様に合わせて設定していますので、パラメータの変更が必要な場合は、必ず弊社に確認してください。むやみに変更されると、機械が予期せぬ動作をし、人身事故や機械の破損につながります。
12. 本機は機械出荷時、お客様の安全を確保し、機械の能力を十分に発揮できるように仕様を設定しています。いかなる場合でも、これらの仕様を変更したり、機械を改造しないでください。お客様が機械の仕様を変更したり、機械を改造すると、安全を確保できなくなり、人身事故や機械の破損につながります。また、機械の能力や寿命にも悪影響を及ぼします。
13. 機械の操作、保守およびプログラミングを行う前に、必ず弊社の取扱説明書を熟読し、内容を充分理解してください。

また、取扱説明書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合は、弊社に連絡してください。各取扱説明書を熟読しないで機械を使用すると、危険な作業や誤操作を行い、人身事故や機械の破損につながります。

14. 酒気や薬物を帯びた状態では、絶対に機械の操作、保守およびプログラミングを行わないでください。注意力が散漫になり、バランスを崩し、思わぬところに体が触れたり、機械の誤操作を行い、人身事故や機械の破損につながります。
15. 設備管理者は、危険防止のため、十分な安全教育を受けた人以上の工場内および機械設置場所への立入りを禁止してください。十分な安全教育を受けていない人が不用意に機械設置場所に立ち入ると人身事故につながります。
16. お客様がメモリ内に登録されたプログラムや機械出荷時に設定されているパラメータ、あるいは入力されたデータが何らかの原因によって、破壊および損失することがあります。このような事故から大事なデータを守るため、外部入出力機器などを使用して、データのバックアップをとり、保存してください。データのバックアップをとらずに破壊したプログラム、あるいは損失したパラメータやオフセットデータに対する損害について、弊社は責任を負いません。
17. 必ず五感が正常な方が機械を使用してください。視覚、聴覚、触覚などが正常でない方が機械を使用すると、目視、聴音、触手などによる機械の状態や周囲の状況の確認が正確にできません。これらの確認は機械の使用するうえで非常に重要なため、正確に確認ができないと、人身事故や機械の破損につながります。
18. 作業に必要な照明を確保してください。作業を行うための十分な照明がないと、転倒したり、正確な作業や確認が行えず、人身事故や機械の破損につながります。
19. 機械周辺の障害物を取り除いてください。また、作業性および安全性を考慮したスペースや通路を確保してください。障害物があり、十分なスペースや通路がないと、転倒したり、作業性が悪くなり、人身事故や機械の破損につながります。
20. 機械アラームやPCアラームが発生した場合は、取扱説明書で内容を確認し、対応してください。それでも対応できない場合は、弊社および制御メーカーに連絡し、充分理解したうえで対処してください。
21. 機械に取り付けられている電源コンセントは、外部入出力機器専用です。保守・点検作業などに使用する電気製品を接続しないでください。また、許容電流以下の外部入出力機器を接続してください。保守・点検用の電気製品や許容電流以上の外部入出力機器を使用すると、強電源盤のブレーカが落ちる恐れがあります。機械運転中に、このようなことが起こると、人身事故や機械の破損につながります。

2 . 電源投入・しゃ断時の注意事項

1 . 1 電源投入前の注意事項

電源を投入する前に、不注意による人身事故や機械の破損を防止するため、下記の事項に注意してください。

パソコン電源投入後、FS2002が起動するまで、キー操作等をしないでください。不用意にキーに触れると、機械が予期せぬ動作をし、人身事故や機械の破損につながります。

1.2 電源投入後の注意事項

1. 停電で機械が止まったときは、すぐにメインスイッチをしゃ断してください。電源をしゃ断しないと、停電が解除されたとき、機械が予期せぬ動作をし、人身事故や機械の破損につながります。
2. 落雷などで電源電圧が異常に変動する可能性がある場合は、機械を停止し、電源をしゃ断してください。正常な電源の供給がないと、機械は正常に動作しません。機械可動中に、停電や落雷により電源が瞬断されると、機械が予期せぬ動作をし、人身事故や機械の破損につながります。
3. 電源を投入した後、パソコンのファンが正常に作動しているか確認してください。正常に作動していない状態で機械を運転すると、機内の熱を放出できず、機械の破損や故障につながります。
4. 電源をしゃ断するときは、まずアラームなど異常がないことを確認した後、非常停止ボタンを押し、別紙のしゃ断手順書に基づいてしゃ断してください。機械稼働中にいきなりメインスイッチをしゃ断すると、機械が予期せぬ動作をし、機械の破損につながります。
5. 停電なので機械が止まった後、再度電源を投入したときは、プログラム、パラメータ、データなどが破壊していないか確認してください。データが破損した状態で機械を使用すると、機械の破損につながります。

3. 段取り作業の注意事項

段取り作業とは、機械の電源を投入してから、フライトの各種設定を行うことで、プログラムの入力や空運転、テストフライトなどを含みます。

1. 機械操作は十分に訓練を受けた方が1人で行ってください。2人以上で作業しなければならない場合は、お互いに合図し合って、十分に注意して作業を行ってください。作業者がキー操作などを行っているとき、他の者が操作パネルのボタンを押し、機械を動かしたりすると、作業者や周囲の人を巻き込んだ人身事故につながります。
2. お客様で設定されるフライト条件は多種多様にわたるため、弊社ではそれらのすべてを把握することができません。最終的にはお客様が責任をもって決定してください。お客様で条件を決定しかねる場合は、弊社へ連絡ください。フライト条件が不適切な状態で、フライトを行うと、機械が予期せぬ動作をし、人身事故や機械に破損につながります。

4 . 機械運転時の注意事項

- 1 . 機械稼働中は機械にもたれかかったりしないでください。機械が誤動作を起こす事があります。
- 2 . 機械可動部や機械の上などに物を置かないでください。可動部に物をはさまり、機械の故障につながります。また、機械の振動などにより、機械の上から物が落下し、人身事故につながります。
- 3 . 特別仕様の機械では、その仕様に応じた使い方をしてください。間違った使い方をすると、機械が予期せぬ動作をし、人身事故や機械の破損につながります。
- 4 . スロットルレバーがHIGHになっていると、機械が運転を起動できる条件を満たしており、リセットが押されると、自動的に機械が作動することがあります。終了後は、必ずスロットルレバーをLOWにして下さい。自動運転が予期せぬ状況で起動されると、人身事故や機械の破損につながります。
- 5 . 長時間無人運転を行う場合、何らかの原因で機械が発火すると、人身事故や機械の破損につながります。引火火災により発生した損害に関して、弊社は責任を負いません。お客様自身が自動消火装置などを設置し、火災に対して充分注意して機械を使用してください。
- 6 . 機械運転中、異音や振動が発生していないか確認してください。異音や振動がある場合は、その原因を確かめ、対処してください。そのまま機械の運転を続けると、機械の故障につながります。
- 7 . 始業時には、主軸、各制御軸の慣らし運転を行ってください。慣らし運転を行わないで機械を操作すると、機械の故障につながります。

安全は、快適なフライトシミュレーションの世界を提供します。

安全は、普段からの保守・点検によって、守られます。

1. 電源投入の仕方

1. 配電盤の漏電ブレーカー（お客様設置）をONにします。
次に、本機の電源ブレーカーを「入」にします。



2. 教官卓の〔パソコン電源ボタン〕のスイッチを「PC1 PWR」、「PC2 PWR」の順に押してパソコンの電源を ON にします。



3. 3台のプロジェクターの電源を入れます。
付属のリモコンの「ON/STANDBY」ボタンをプロジェクタの受光部に向けて押します。



プロジェクタの受光部

4. 「BODYSONIC チェア」の電源をONにします。
教官卓の下段にある「BODYSONIC AMP」の電源スイッチを押してONにします。



電源スイッチ

5. パソコンのMicrosoft Windows 2000 が起動します。教官卓の左モニターが下左図のようなデスクトップ画面になります。

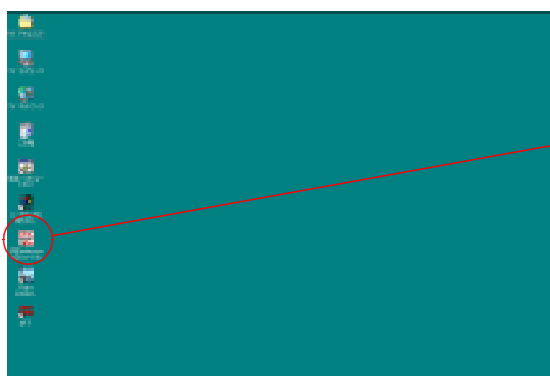
デスクトップ画面が表示されても、パソコンは、まだ起動中ですので、ここで1分間ほど待ちます。


6. EPICの起動（これで操縦装置の割り当てを行っています。）
（切替スイッチが になっています。教官卓の左モニタにPC 1の画面が表示されています。）

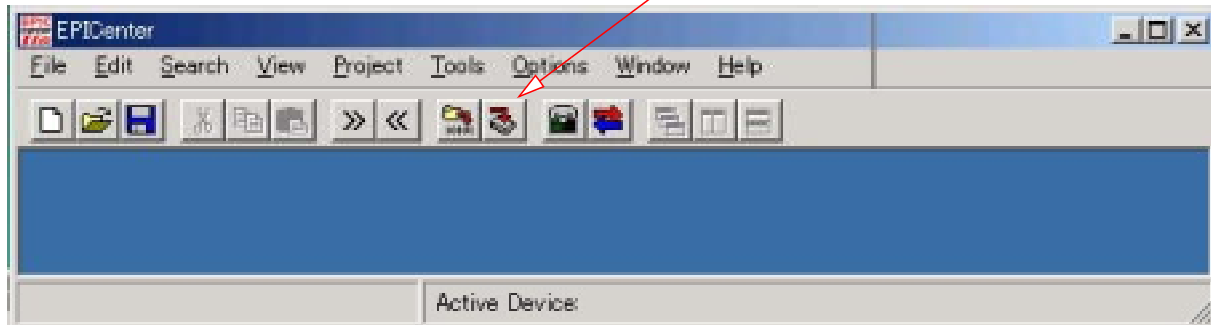


グリーンのランプが1側に点灯します。

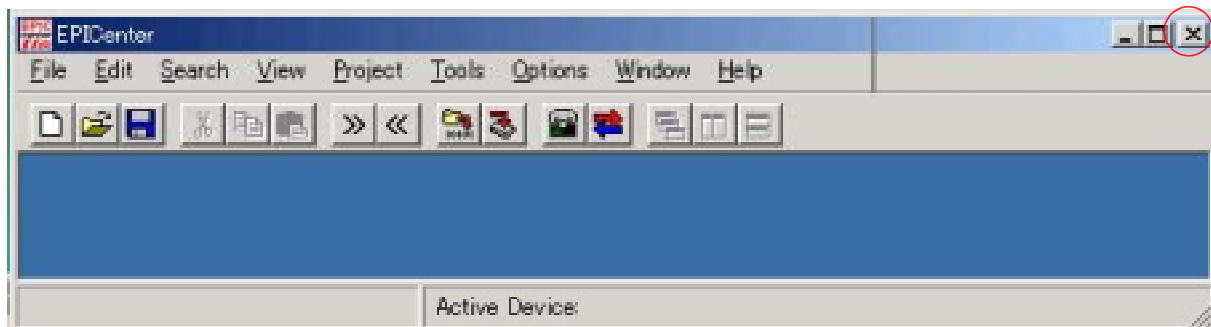
マウスで、EPICenter アイコンをダブルクリックします。



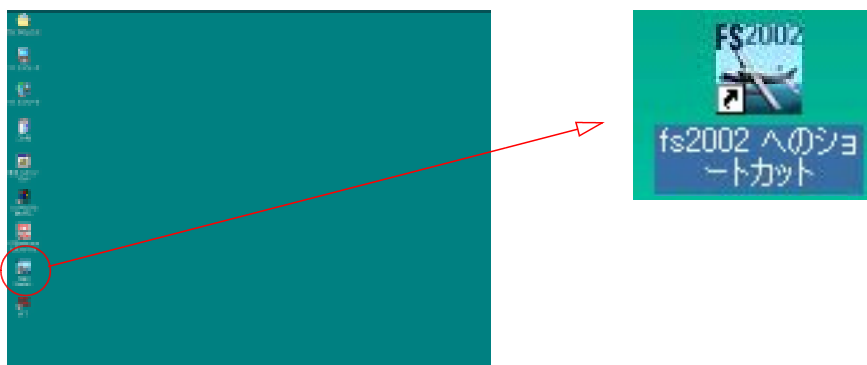
- 7 . EPICenter が起動して、教官卓のモニターに下図のウィンドウが表示されます。
 キーボードの **F10** を押します。（または、 をクリックします。）



- 8 . EPICenter が正常に終了したらウィンドウの右上の **X** をクリックして
 ウィンドウを閉じ終了します。
 E R R が表示された時は、E R R ウィンドウを閉じ、EPICenter を閉じて
 もう一度 手順 6 にもどって操作し直します。



- 9 . 下左図の FS2002 アイコンをダブルクリックします。



P C 1 のFS2002が起動します。

手順 6 ~ 9 の起動は、まれに失敗することがあります。症状としては、

- 操作したスイッチとは違う機能が働く。
- スイッチ類が反応しない。
- スイッチ類の反応が遅い。

等です。その場合は、つぎの手順で回避してください。

FS2002を終了させます。

終了方法は、マウスで画面右上の をクリックします
 デスクトップ上の全ウインドウをウインドウ右上の をクリックして閉じます。

起動手順の 6 ~ 9 の操作を手動で行います。

それでも駄目な場合は、 のあとでパソコンを再起動してください。

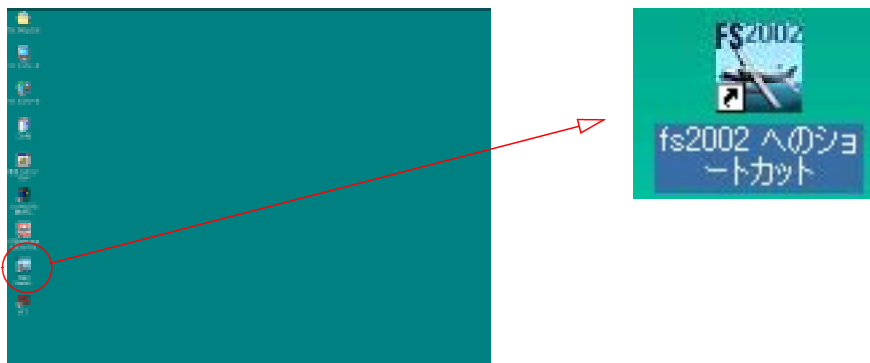
10 . 切替スイッチを 2 にします。

(教官卓の左モニタに P C 2 の画面を表示します。)



グリーンランプが 2 側に
点灯します

11 . 下左図の FS2002 アイコンをダブルクリックします。



P C 2 のFS2002が起動し、サイドモニタに映像が表示されます。

10. 切替スイッチを 1 にします。
(教官卓の左モニタに P C 1 の画面を表示します。)



注：メモリーの関係上、連続稼働時間は4時間程度として下さい。
時間を決めてP Cを再起動して下さい。

2 . 搭乗準備

1 . 椅子の位置を調整してください。

座席下左側のレバーを持ち上げると、椅子全体が、前後にスライドします。



2 . 計器類、操作機器の位置を確認してください。

操作機器の名称は、銘板を確認してください。

3 . 下記スイッチが初期状態になっていることを確認してください。

初期状態ではない時は、初期状態に戻してください。

AVIONICS	スイッチ	---	OFF
MASTER	スイッチ	---	OFF
FUEL PUMP	スイッチ	---	OFF
PARKING BRAKE		---	ON (引いた位置)
MIXTURE	レバー	---	LEAN
PROP RPM	レバー	---	DECR
THROTTLE	レバー	---	CLOSE
COWL FLAPS	スイッチ	---	CLOSE
FUEL SELECTER	(L,R共に)	---	CENTER
DME	スイッチ	---	NAV 1
COURSE Selector	スイッチ	---	NAV
RUDDER TRIM、PITCH TRIM、AILERON TRIM		---	CENTER
LIGHT系		---	OFF

4 . リセットボタンを押してください。

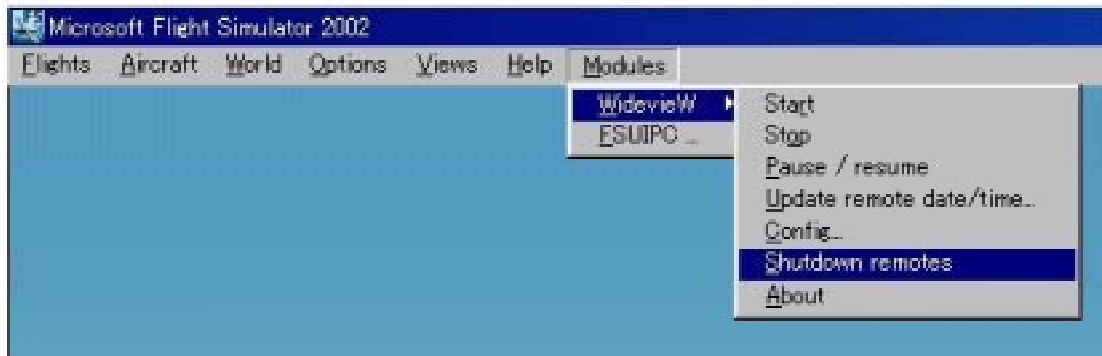
- 5 . AVIONICS スイッチとMASTER スイッチを ON にしてください。
- 6 . FUEL VALVE を ON にしてください。
- 7 . MIXTURE スイッチを RICH にしてください。
- 8 . PROP RPM スイッチを INCR にしてください。
- 9 . THROTTLE スイッチを少し押してください。(1/2 inch)
- 10 . MAGNETOS スイッチ をエンジンが始動するまで START にしてください。始動したら手を離してください。MAGNETOS スイッチは、自動的に BOTH 位置へ戻ります。

上手く掛からないときは、繰り返してください。
- 11 . PARKING BRAKE をOFF (解除) して、スロットルをゆっくり押し込めば、フライトの開始です。

存分に、フライトをお楽しみください！！

3 . 終了方法

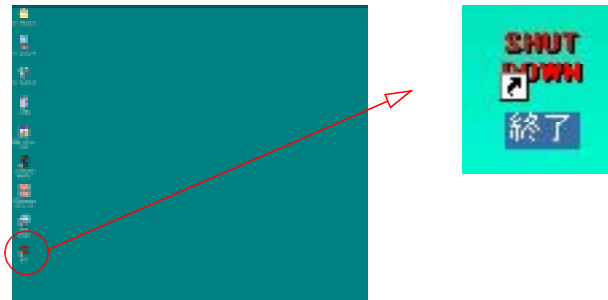
- 1 . キ - ボ - ドの **A l t** を押すと、画面上にメニューバーが現れます。
メニューバーの [Modules] [WidevieW] から、[Shutdown remotes] を
1回だけ、左クリックしてください。
P C 2 のFS2002が、自動的に終了します。



- 2 . 確認のウィンドウが表示されますので **はい** をクリックします。



- 3 . 切替スイッチの **2** を押します。P C 2 のデスクトップが表示されます。
- 4 . SHUTDOWN終了 アイコンをダブルクリックします。

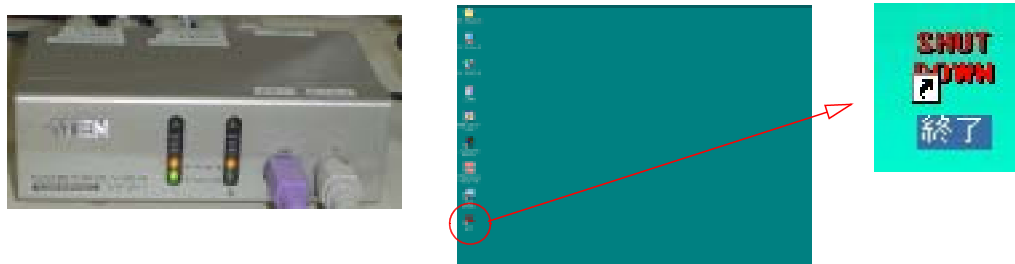


5 . 切替スイッチの **1** を押します。 P C 1 のデスクトップが表示されます。

6 . FS2002を終了させます。

キーボードの **ALT** キーを押しながら **F4** キーを押します。
 (またはウインドウ右上の **X** をクリックするか、或いはメニューバーの「フライト (F)」の「終了 (X)」をクリックし、「 Flight Simulator 」を終了します。)

7 . [SHUTDOWN終了] アイコンをダブルクリックします。



8 . 教官卓の下の段にある 「 BODYSONIC AMP」の電源スイッチを押して O F F にします。

9 . プロジェクターの電源を落とします。

(* プロジェクターの寿命に関わることで必ずお守り下さい*)
 リモコンの「ON/STANDBY」ボタンをプロジェクターの受光部に向けて押します。
 「もう一度押すと電源が切れます」と、スクリーンに表示されますので、もう一度、リモコンの「ON/STANDBY」ボタンをプロジェクターの受光部に向けて押します。

10 . プロジェクターの冷却を行います。

(* プロジェクターの寿命に関わることで必ずお守り下さい*)
 プロジェクターの電源を落としますと、プロジェクター本体操作部の ON (燈色) と L A N P (緑色) と F A N (緑色) の 3 つが点灯します。
 この時はブレーカーを落とさないでください。ランプの寿命が短くなります。

暫くすると、 L A N P (緑色) が消え
 ON (燈色) と F A N (緑色) の 2 つだけが点灯します。

* お急ぎの時はこの途中でブレーカを落としても差し支えありません。

3分ほどで F A N (緑色) も消え
 ON (燈色) だけが点灯し、スタンバイ状態となります。

11. 本機の電源ブレーカーを「切」にします。
配電盤の漏電ブレーカー(お客様設置)をOFFにします。



初期値説明

SS21D-P

目次

- (1). フライトの選択
- (2). 航空機の選択と機体の変更方法
- (3). 空港の選択
- (4). 気象の設定
- (5). リアリティの設定
- (6). 割り当ての設定
- (7). 故障の割り当て
- (8). FS2002起動時設定
- (9). 表示設定
- (10). フライト時間の変更

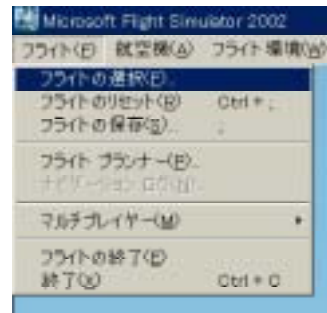
フライトの選択

ここでは、標準として登録しているフライトの初期値を説明します。

[フライト]は、様々な状態（任意の空港・気象・航空機等）で保存できます。繰り返しの訓練や、使用者の使い分け等、様々な利用方法が有ります。

初期値の確認及び変更方法

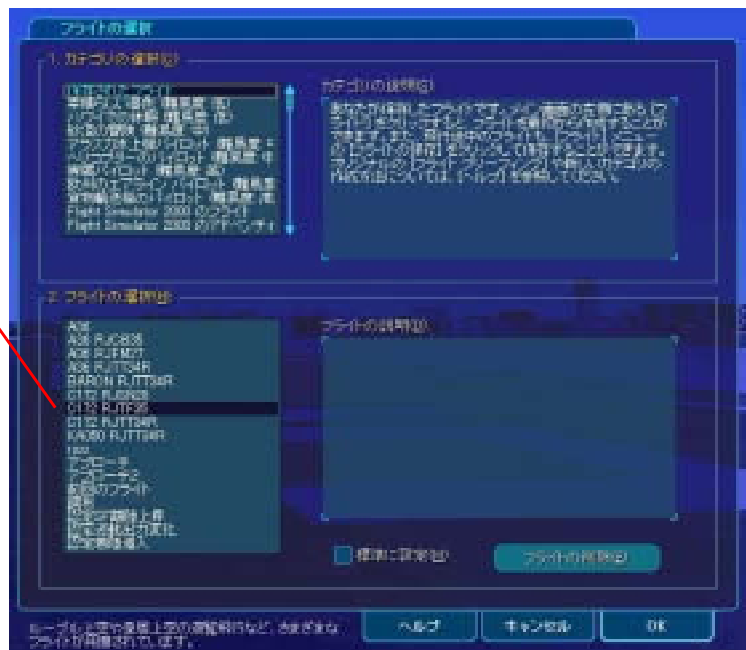
1. [フライト]をクリックし、[フライトの選択 (F)]をクリックします。



2. [フライトの選択]ダイアログボックスが表示されます。

右下図が、初期設定です。

C172 RJTF35



当社で登録したフライトは、[C172 RJTF35] です。

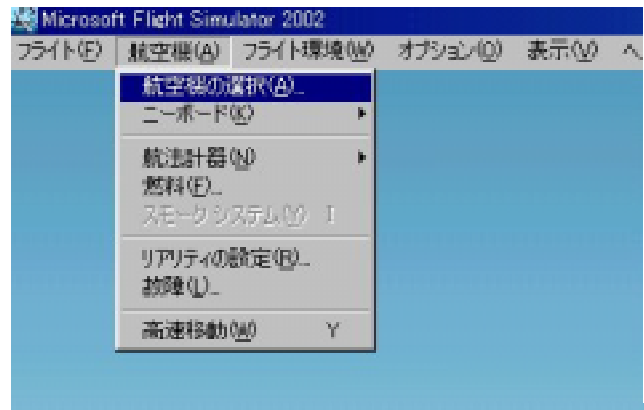
3. 登録されている フライト すべての動作確認は行っていません。
フライト詳細については HELP をご覧下さい。
又、マニュアル本が 市販されておりますので、ご購入の上、ご確認下さい。

航空機の選択

ここでは、初期値登録している航空機を説明と航空機を変更する方法を説明します。

初期値の確認及び変更方法

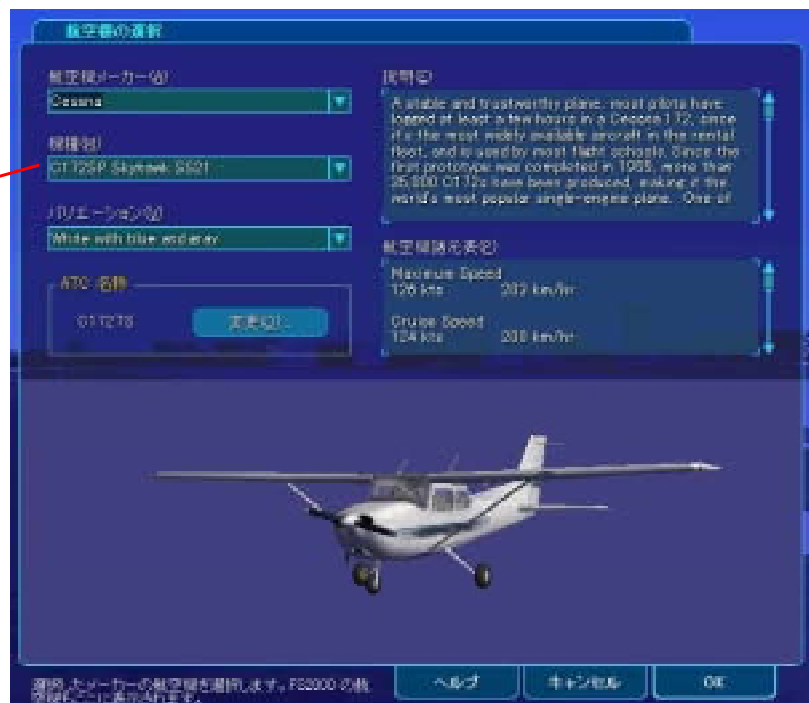
1. [航空機(A)]をクリックし、
[航空機の選択(A)]をクリック
します。



2. [航空機の選択] ダイアログボックスが表示されます。

右下図が、初期設定です。

C172SP Skyhawk SS21
が動作確認機体です。



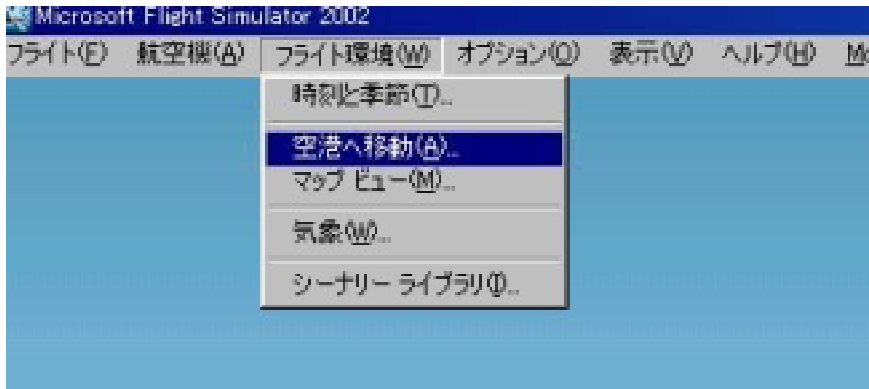
機体の変更方法

[フライトの選択] で登録されている機体を選ぶ場合は、地平線の高さを左右揃えて有りますので、[航空機の選択] をする必要がありません。

空港の選択

ここでは、初期値登録している空港と空港を変更する方法を説明します。

1. [フライト環境(W)] をクリックし、[空港へ移動(A)] をクリックします。



2. [空港の選択] ダイアログボックスが表示されます。

初期値は、羽田 (RJTT) 34R

空港を変更する場合は、名称を検索するか、空港IDで検索します。

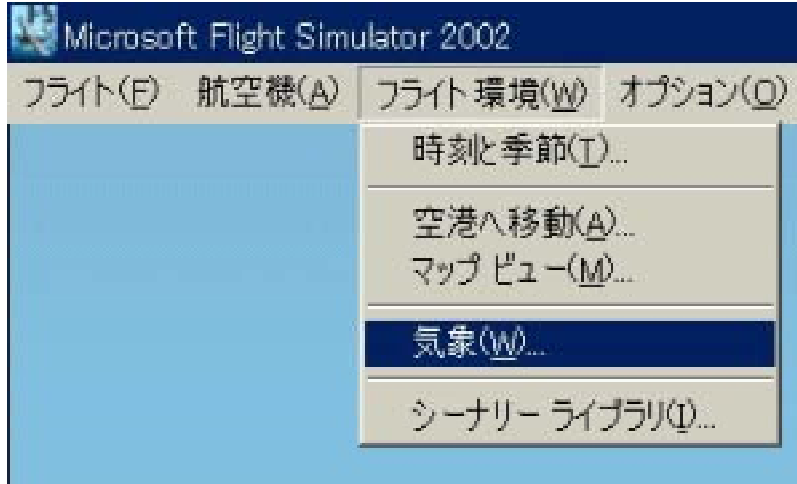


市販及びインタ - ネット上で公開されている空港シ - ナリ - をお使いになる場合、SS21D - Pの処理速度が遅くなる場合があります。十分な調査後インストールしてください。

気象の設定

ここでは、気象を変更する方法を説明します。

1. [フライト環境(W)] をクリックし、[気象(W)] をクリックします。



2. [気象] ダイアログボックスが表示されます。

初期値は、快晴、視程無限、無風です。



気象の詳細については HELP をご覧下さい。

又、マニュアル本が 市販されておりますので、ご購入の上、ご確認下さい

SS21D-Pは、LAN接続されております。環境によってはインタ - ネットから現在の気象デ - タを入手する事が出来ます

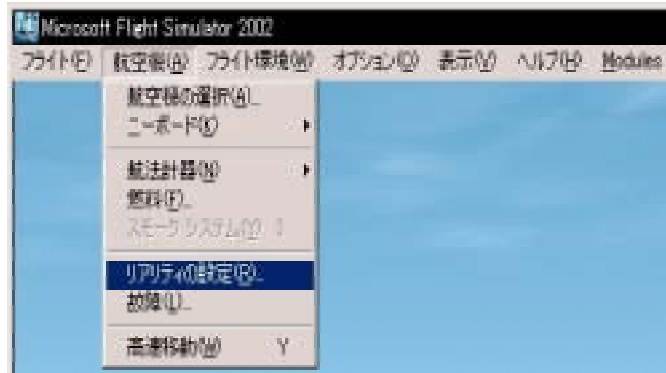
リアリティの設定

ここでは、FS2002で設定可能な【リアリティ】の初期値を説明します。

[リアリティの設定]を[難しい]に設定すると、本物の航空機を操縦するのに必要な、すべての操作を実行できます。また、[やさしい]に設定した場合は、繰り返し行わなければならない操作を自動化して、飛行だけに集中できるような設定にすることができます。

初期値の確認及び変更方法

1. [ALT]キーを押し、メニューバーを表示します。
[航空機(A)]をクリックし、[リアリティの設定(R)]をクリックします。

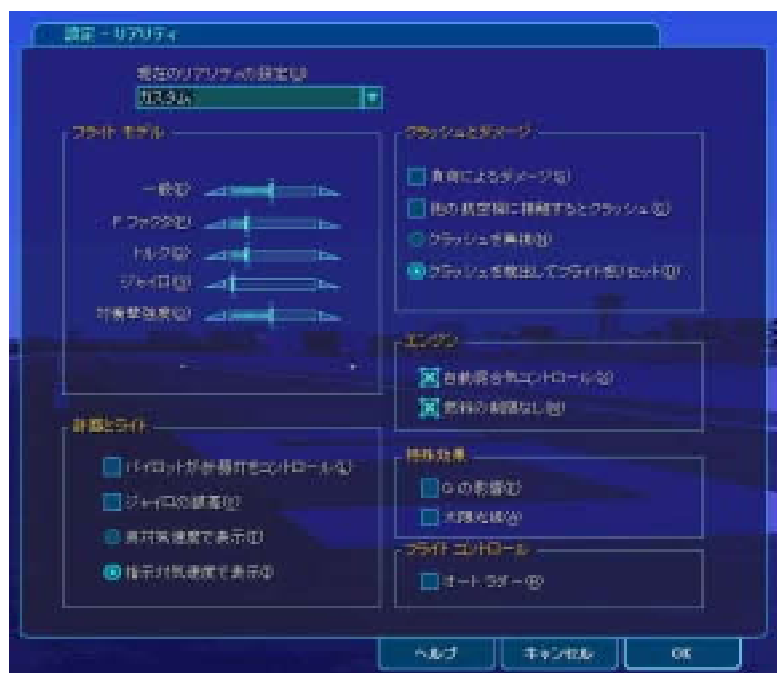


2. [リアリティの設定]
ダイアログボックスが表示されます。

右図が、初期設定です。

それぞれの設定項目の詳細については HELP をご覧下さい。

又、マニュアル本が市販されておりますので、ご購入の上、ご確認下さい。



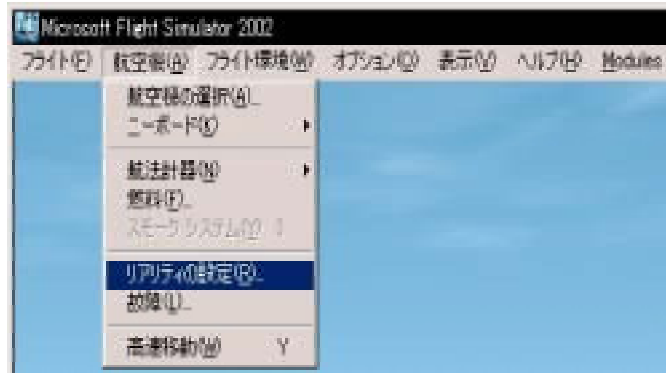
リアリティの設定

ここでは、FS2002で設定可能な【リアリティ】の初期値を説明します。

[リアリティの設定]を[難しい]に設定すると、本物の航空機を操縦するのに必要な、すべての操作を実行できます。また、[やさしい]に設定した場合は、繰り返し行わなければならない操作を自動化して、飛行だけに集中できるような設定にすることができます。

初期値の確認及び変更方法

1. [ALT]キーを押し、メニューバーを表示します。
[航空機(A)]をクリックし、[リアリティの設定(R)]をクリックします。

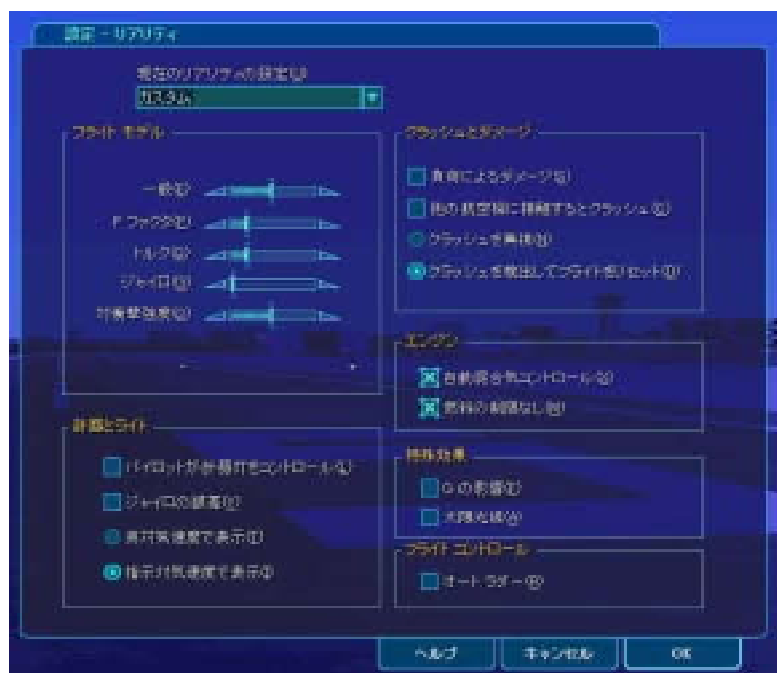


2. [リアリティの設定]
ダイアログボックスが表示されます。

右図が、初期設定です。

それぞれの設定項目の詳細については HELP をご覧下さい。

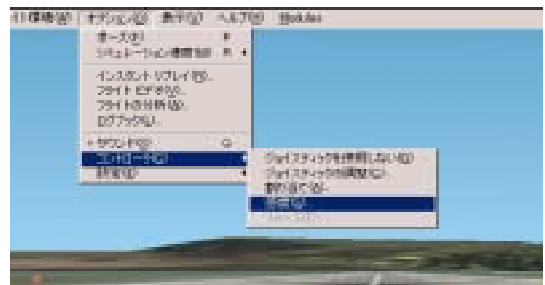
又、マニュアル本が市販されておりますので、ご購入の上、ご確認下さい。



コントローラの感度設定

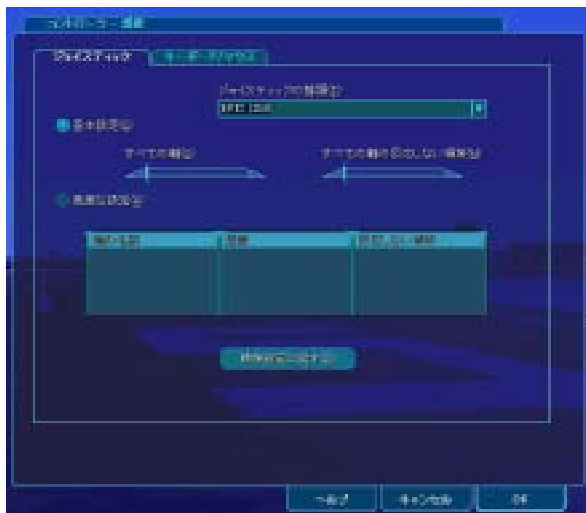
ここでは、FS2002で使用するコントローラの感度設定の初期値を説明します。

1. [ALT]キーを押し、メニューバーを表示します。
[オプション(O)]をクリックし、
[コントローラ(C)]内の[感度(S)]をクリックします。



2. [コントローラの感度]ダイアログボックスが表示されます。

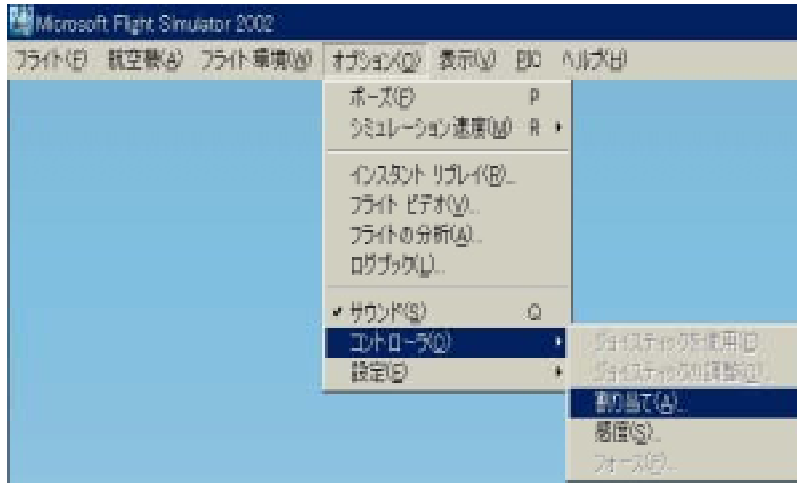
ジョイスティック軸の感度、初期設定です。



故障の割り当て設定

ここでは、教官卓よりキ - ボ - ド操作で、故障を発生させるキ - の割り当て初期値を説明します。

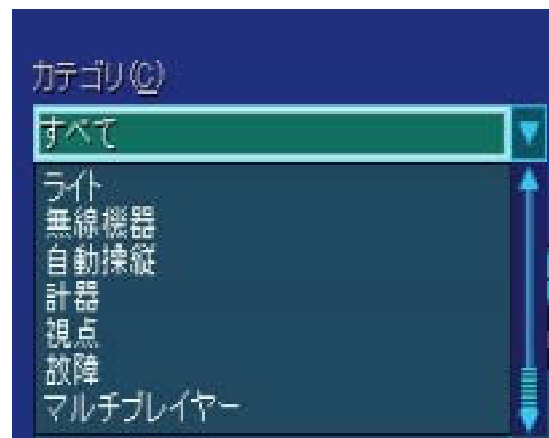
1. [オプション(O)] - [コントロ - ラ(C)] - [割り当て(A)] をクリックします。



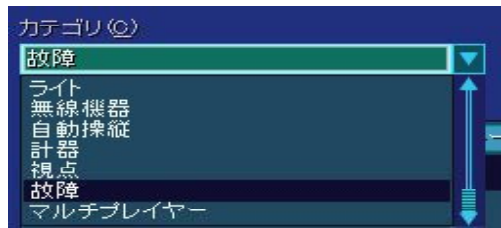
2. [キ - 割付の設定] ダイアログボックスが表示されます。



3. [カテゴリ(C)] をプルダウンします。



4. [故障]を選択し、クリックします。



5. 故障の動作内容が、表示されます。

割り当て一覧(G)

動作	キーボード	ジョイスティック	リピート
エンジン1の故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F1		
エンジン2の故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F2		
エンジン3の故障 - オン/オフ			
エンジン4の故障 - オン/オフ			
ピトー管詰まり - オン/オフ	Ctrl + Shift + F5		
ブレーキ全体の故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F8		
右ブレーキの故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F6		

6. 故障の動作内容を、プルダウンすると後半部が、表示されます。

割り当て一覧(G)

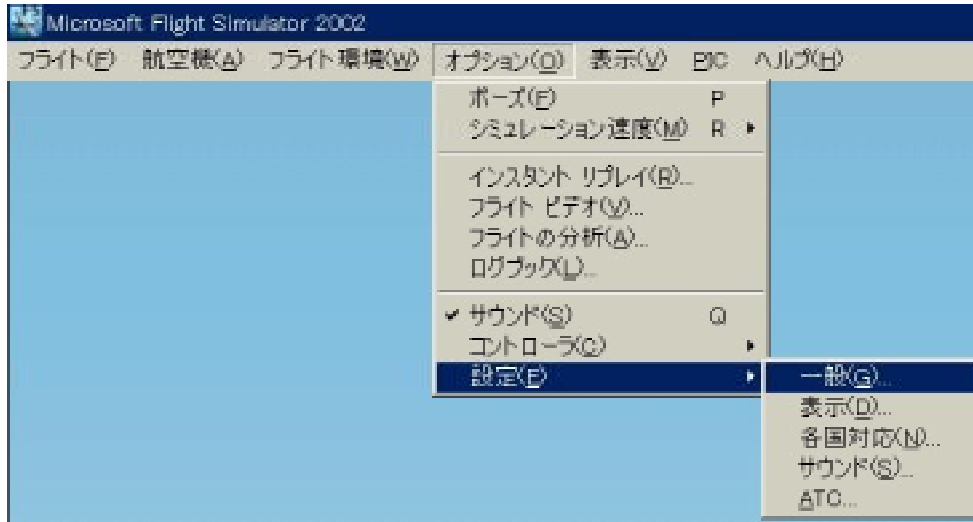
動作	キーボード	ジョイスティック	リピート
ブレーキ全体の故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F8		
右ブレーキの故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F6		
左ブレーキの故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F4		
真空ポンプシステムの故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F9		
静圧孔詰まり - オン/オフ	Ctrl + Shift + F7		
電気システムの故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F10		
油圧システムの故障 - オン/オフ	Ctrl + Shift + F3		

7. SS21 - Pが動作中に、割り当てされたキ - を1回押すと、故障が再現され、さらにもう1回押すと復帰します。

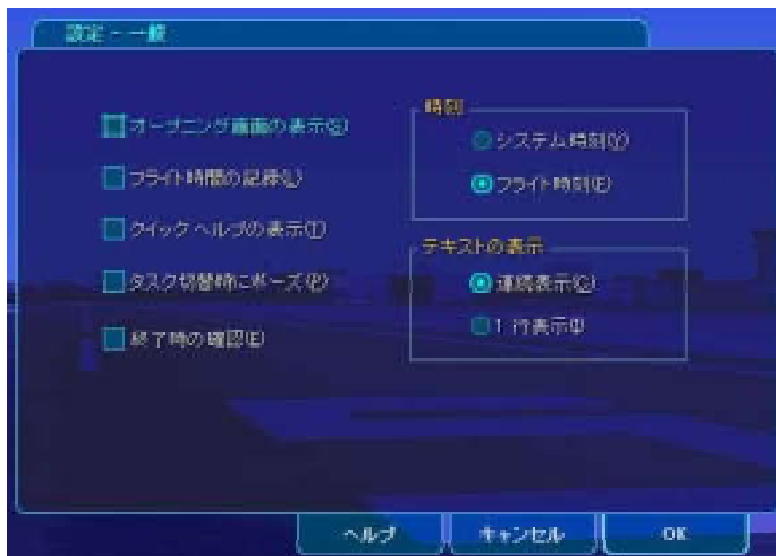
FS2002起動時設定

ここでは、FS2002が起動するときの設定状況を説明します。

1. [オプション(O)] - [設定(E)] - [一般(G)] をクリックします。



2. [設定 - 一般] ダイアログボックスが表示されます。



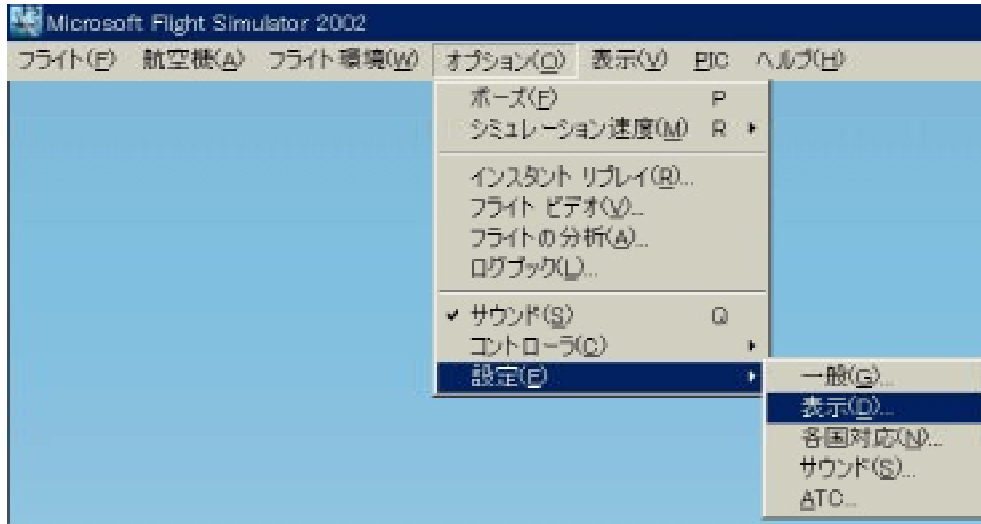
詳細については HELP をご覧下さい。

又、マニュアル本が 市販されておりますので、ご購入の上、ご確認下さい

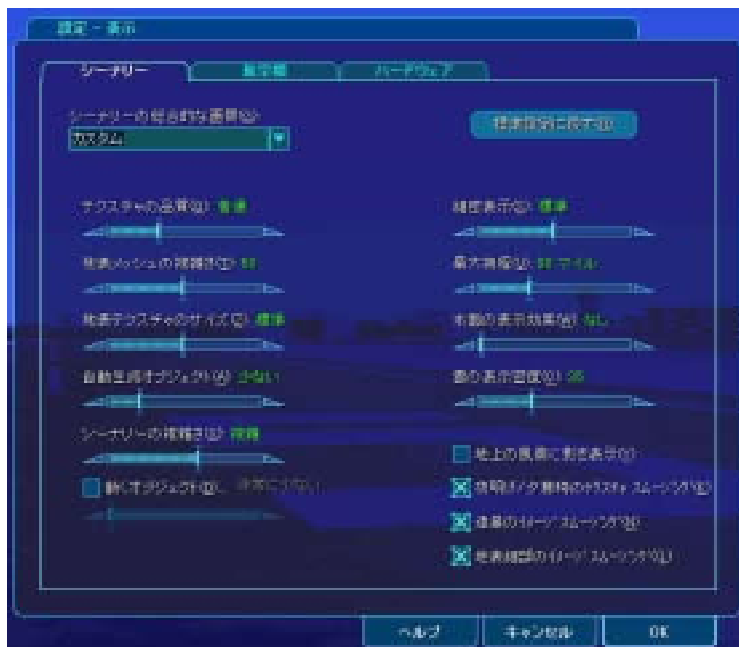
FS2002表示設定

ここでは、FS2002の表示に関する設定状況を説明します。

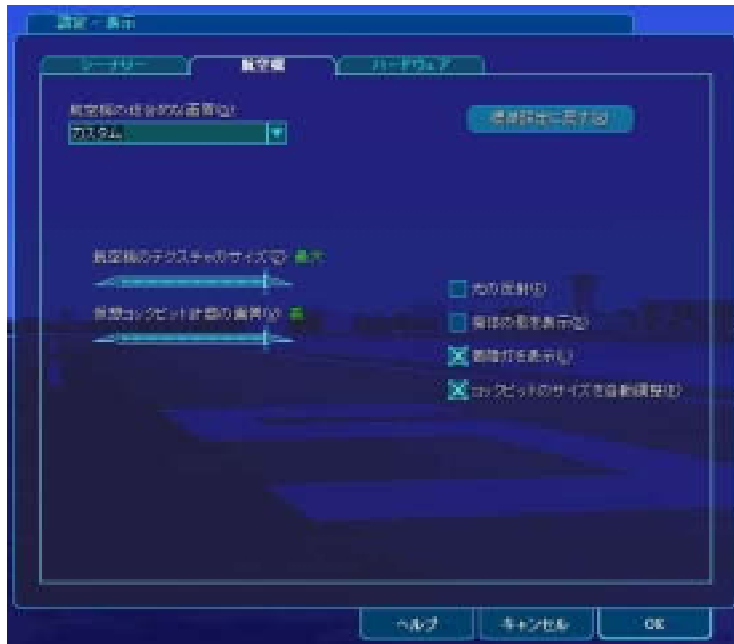
1. [オプション(O)] - [設定(E)] - [表示(D)] をクリックします。



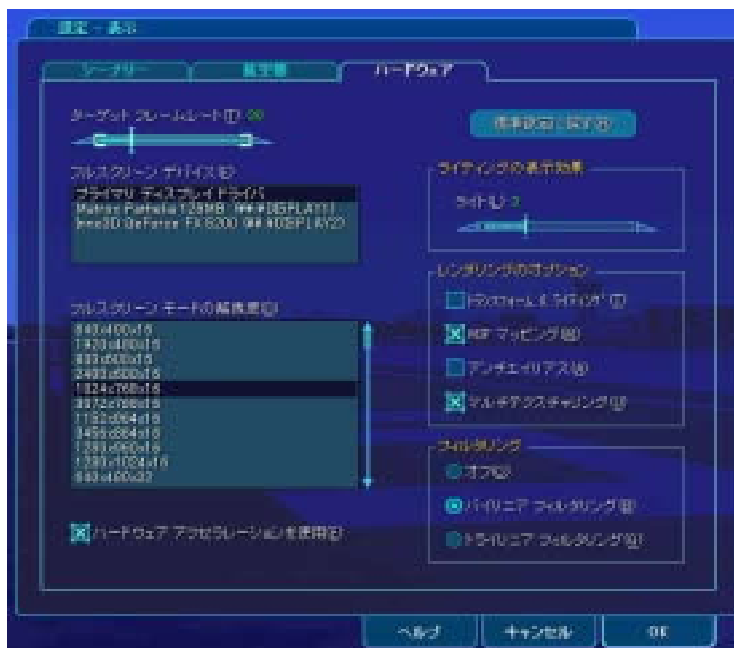
2. [シ - ナリ -] ダイアログボックスが表示されます。
下図が初期値です。



3. [航空機] をクリックするとダイアログボックスが表示されます。
 下図が初期値です。



4. [ハ - ドウェア] をクリックするとダイアログボックスが表示されます。
 下図が初期値です。



詳細については HELP をご覧下さい。

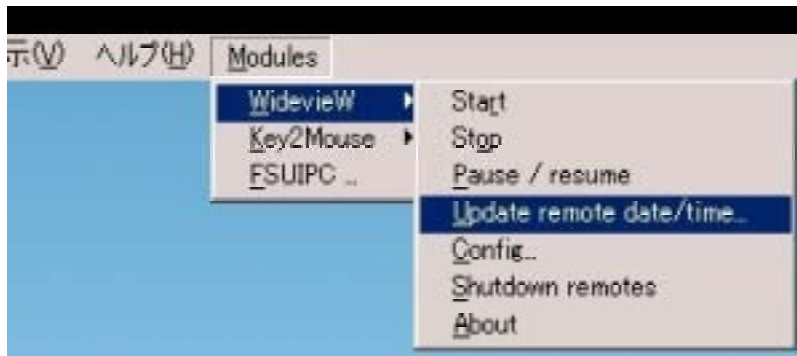
又、マニュアル本が 市販されておりますので、ご購入の上、ご確認下さい

この設定は、処理速度と密接な関係があります。変更される場合は、充分にご検討下さい。

SS21Dでは、FS2002の【時刻と季節】でフライト時間を変更しても、左右画面に転送されないときがあります。

左右画面も同期する設定を説明します。

1. [ALT]キーを押し、メニューバーを表示します。
[Modules] - [Wideview] - [Update remote date/time] をクリックします。



2. 設定したい日付と時間を入力します。



3. [Set the same time/date also locally] のチェックを外して、OKをクリックします。



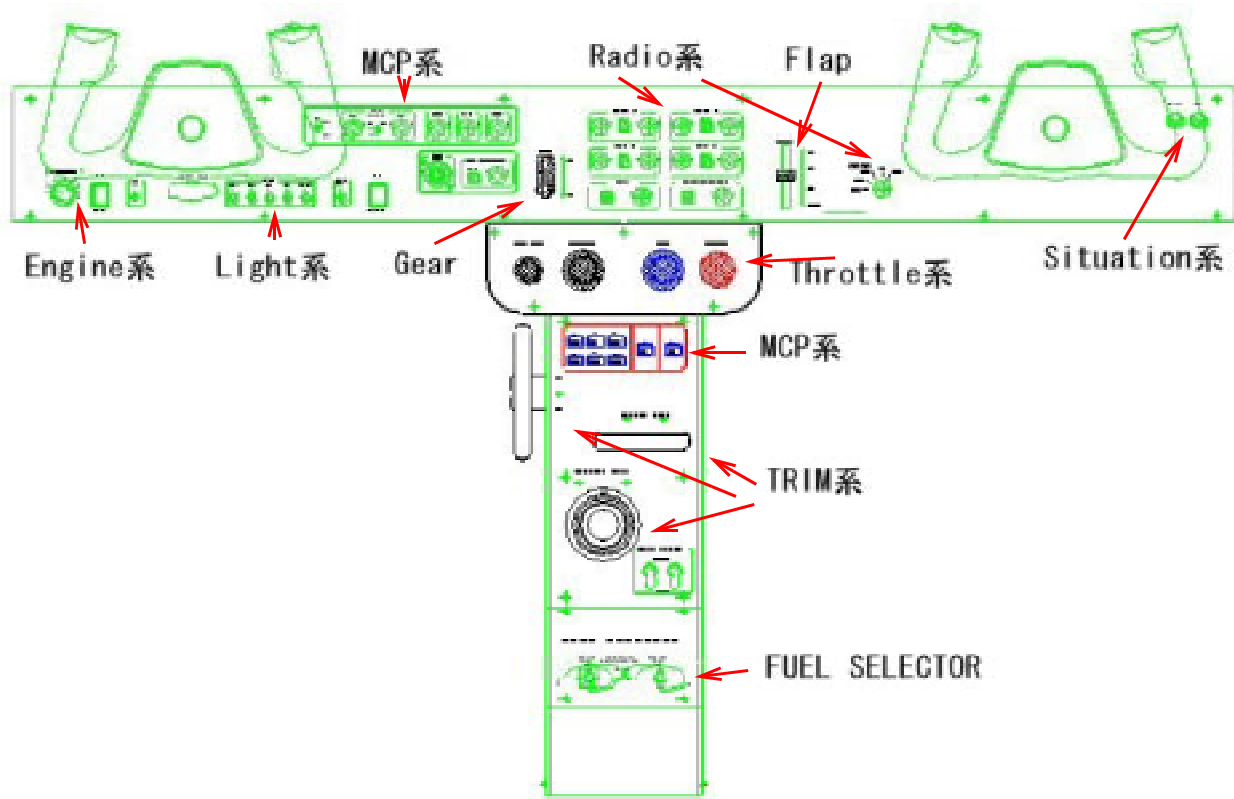
操縦装置の概要

本装置は、FS2002に含まれる小型単発機を快適に操作するために、SS21D-P用として開発した操縦装置です。他の航空機やFS2002が持つ全ての機能は、装置に割り付けておりません。必要な場合は、教官卓より操作して下さい。

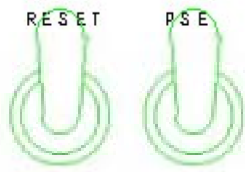
操縦装置の機能説明

ここでは、SS21D-Pで使用する操縦装置の機能を説明します。銘板上、記載されていても、使用や機種によっては、機能を割り付けていないボタンがあります。機能しているボタンのみの説明となります。

操縦装置概略図



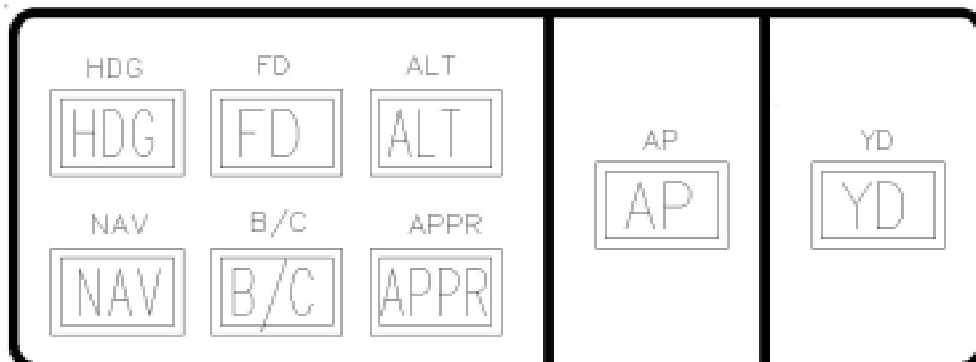
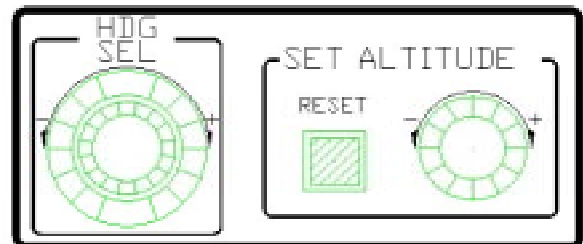
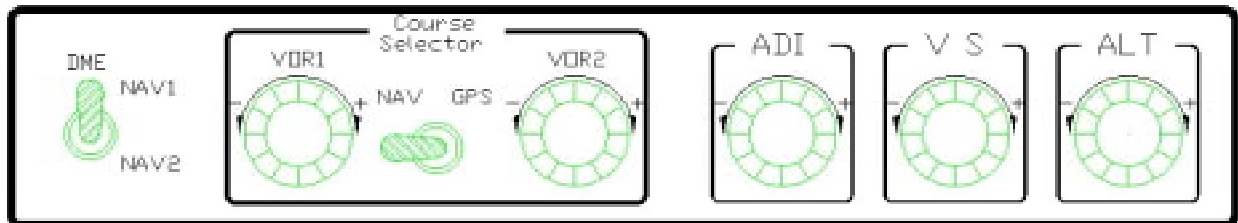
(1) Situation系



RESET のトグルを 上にすると リセット

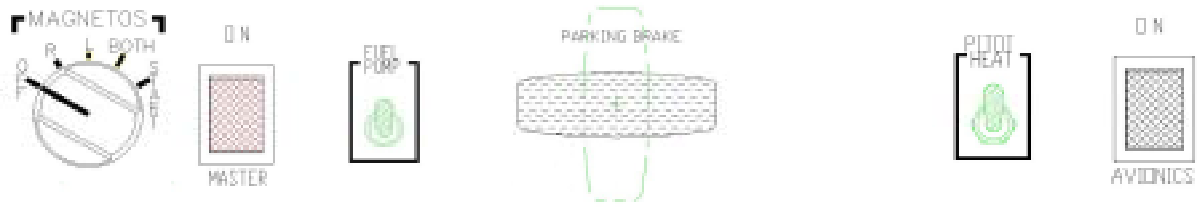
PSE のトグルを 上にすると ポーズ
再度下にする と解除

(2) MCP系



注) 航空機に設定や割り当てがない場合は、動作しません。

(3) Engine系

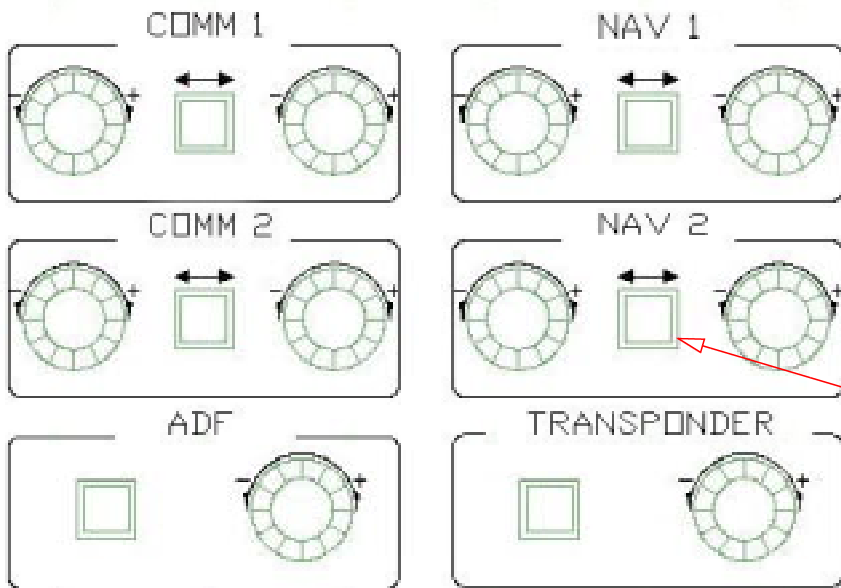


エンジンキ - : 右へ数秒間回して下さい。エンジンが始動します。手を離すとキ - は自動的に中立点へ復帰します。
左へ回すと、エンジンが停止します。

Parking Brake : ハンドルを左に回して 押し込むと Brakeが解除します。
手前に引き 右に回すと Brakeが掛かります。

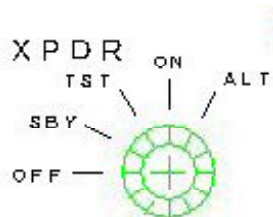
(4) Radio系

切替 S Wは、タッチパネルを使用します。



ダイヤルを回して、周波数を合わせ、各項目にある S E T ボタンを押すと確定します。

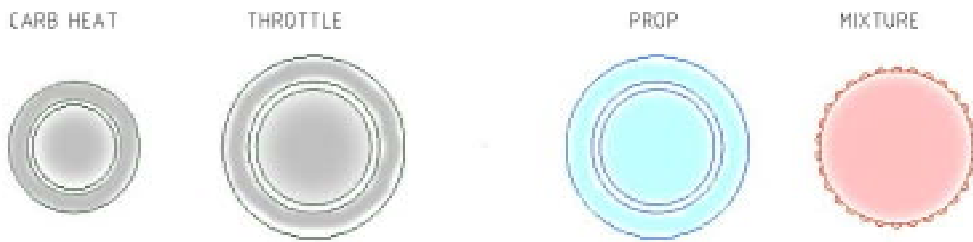
SET ボタン



XPDR ダミー S W

オペレーション確認用で、S Wは作動しません。

(5) Throttle系



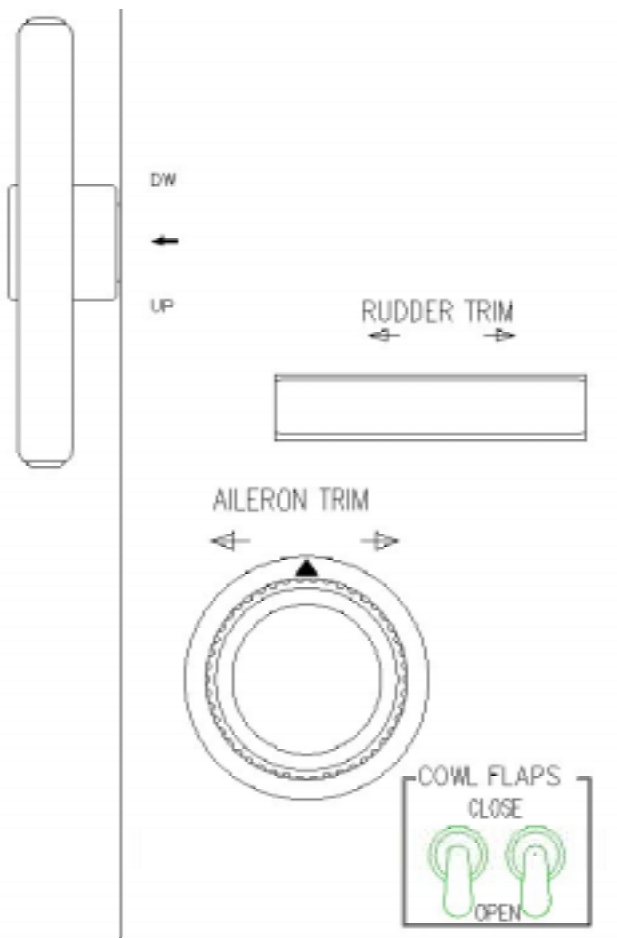
注) 航空機に設定や割り当てがない場合は、動作しません。

(6) Gear & Flap



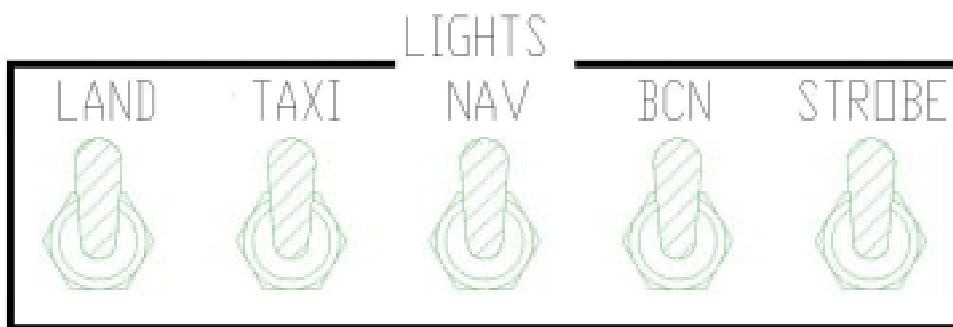
有効となる機体の場合、計器パネル上で Gear Flap 共に UP/DOWN が確認できます。

(7) Trim系

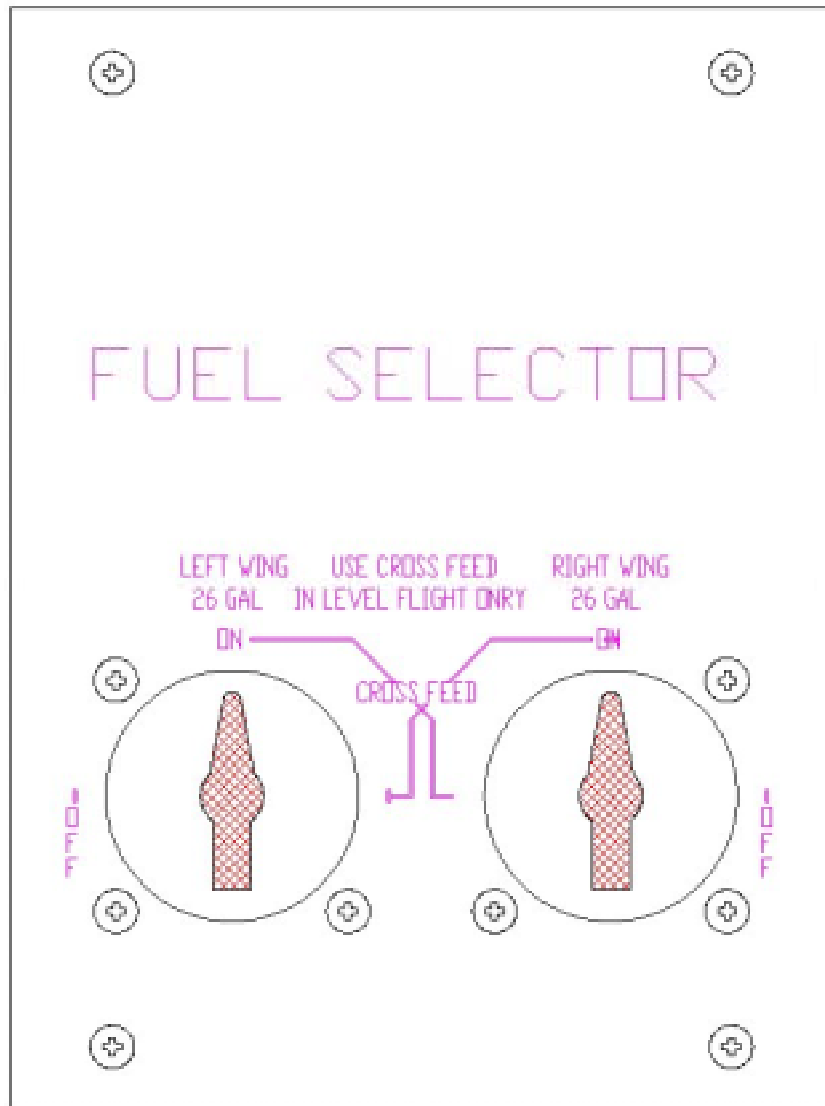


RESET の際、Trimハンドルの印と銘板矢印を合わせると 中立の目安になります。

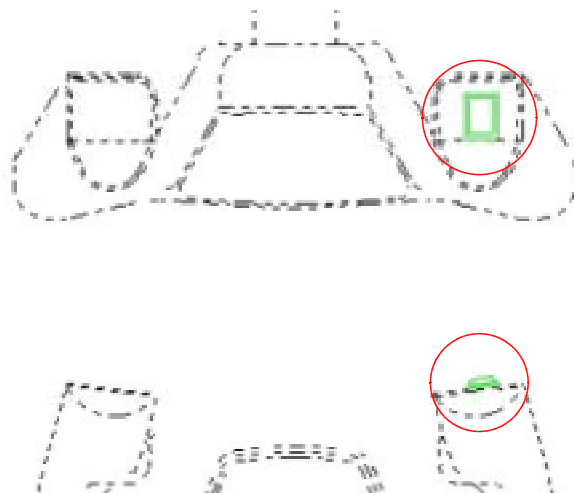
(8) Light系



(9) FUEL SELECTOR



(10) YOKE には PTT が付いています。前に押せば 無線で交信できます。



本装置の大きさ

約 1 9 1 0 mm × 2 8 4 0 mm (扉開閉時最大幅) × 1 8 0 0 mm (高さ)

本装置の重量

約 6 0 0 K g

本装置の消費電力

液晶プロジェクター T L P 260	---	240 W	×	3	
液晶ディスプレイ 1 5 Inch	---	20 W	×	3	
液晶ディスプレイ 1 5 Inch	---	32 W	×	2	
教官卓モニタ 1 5 Inch	---	75 W	×	2	
パソコン	---	300 W	×	2	(max)
切替器 1	---	4.5W	×	1	
切替器 2	---	0.2W	×	1	
スプリッター 1	---	0.9W	×	1	
スプリッター 2	---	0.6W	×	2	
HUB	---	5 W	×	1	(max)
ボディソニックチェア	---	55 W	×	2	
ファン	---	15 W	×	6	
サーキットブレーカー	---				

合計 1805.8W (max)

通常使用時 750 VA (メイン画面) + 650 VA (メイン画面以外) 合計 1400 VA

(1).保証期間とアフタ - サ - ビス

保証期間

据付後、1年間。明らかに初期不良と見なされ、部品交換が難しいと判断した場合、現地工事を行います。パソコン部品やSW等、消耗品については、部品のみ供給となります。

尚、メンテナンス契約など、使用状況に合わせた保守に付いて、ご相談致します。

過失や故意による破損修理に関しては、保証期間内でも修理費を頂く事があります。

(2).SS21D - Pで使用している機器の取扱説明書が添付されています。

液晶プロジェクター TOSHIBA 製 画面微調整方法について	東芝液晶データプロジェクター TLP260
液晶モニタ - MITSUBISI 製 画面微調整方法について	Diamondcrysta RDT156V
カラーモニタ - MITSUBISI 製 画面微調整方法について	DiamondSCAN RDS156X
液晶モニタ - BUFFALO 製 画面微調整方法について	FTD-XT15F-A
トランシーバー ALINCO 製	DJ P20
ポディーソニックチェアー	
その他 PC 機器	

初期不良について

納入後1年間は、初期不良として対応致します。(但し、機械付属状態で、使用された場合のみです。)